



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 関根 秀利 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,608	1.8	394	△6.7	375	△27.7	373	△28.3
2019年3月期第1四半期	10,424	2.3	423	△15.5	518	△3.8	520	51.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 447百万円(428.7%) 2019年3月期第1四半期 84百万円(△52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	249.37	—
2019年3月期第1四半期	347.76	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	44,263	17,897	39.5	11,693.31
2019年3月期	43,297	17,599	39.8	11,510.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,503百万円 2019年3月期 17,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	100.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり配当金については、第2四半期末は株式併合前の金額を記載し、期末は株式併合後の金額を記載しており、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	0.5	640	△26.0	650	△29.6	560	△30.3	374.08
通期	42,000	2.4	970	△5.7	970	△11.2	760	△5.4	507.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 砂永精工電子(東莞)有限公司、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,553,323株	2019年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	56,417株	2019年3月期	56,417株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,496,906株	2019年3月期1Q	1,497,079株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需関連の企業業績は堅調さを維持するとともに雇用状況の安定が続いていますが、世界経済の下振れ等により輸出や設備投資が弱含みに推移し、景気回復に力強さを欠く展開となりました。米国経済については個人消費はやや減速するものの企業景況感は底堅く推移し、欧州経済については輸出が伸び悩み景気は減速傾向となりました。一方、中国経済は米中間の貿易摩擦の影響等により停滞局面に入り、世界経済の先行きには不透明感が増えています。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、10,608百万円と前年同期と比べ183百万円の増加(前年同期比1.8%増)となりました。営業利益は米中間の貿易摩擦の影響等により394百万円と前年同期と比べ28百万円の減少(前年同期比6.7%減)、経常利益は375百万円と前年同期と比べ143百万円の減少(前年同期比27.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は373百万円と前年同期と比べ147百万円の減少(前年同期比28.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、米国子会社や中国子会社の受注増等により、売上高は増加しました。

その結果、売上高は7,767百万円と前年同期と比べ553百万円の増加(前年同期比7.7%増)となり、セグメント利益は552百万円と前年同期と比べ167百万円の増加(前年同期比43.5%増)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、金属工作・加工業界向けの販売は増加となりましたが、モーター、変・減速機、OA、昇降・運搬、印刷・製本業界向け等の販売は減少となりました。

その結果、売上高は2,481百万円と前年同期と比べ500百万円の減少(前年同期比16.8%減)となり、セグメント損失は56百万円(前年同期は94百万円のセグメント利益)となりました。

③ その他

その他では、売上高が359百万円と前年同期と比べ129百万円の増加(前年同期比56.2%増)となりました。セグメント利益は31百万円と前年同期と比べ13百万円の増加(前年同期比76.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、電子記録債権の増加等により29,504百万円(前期末比490百万円増)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加等により14,759百万円(前期末比474百万円増)となりました。その結果、資産合計は44,263百万円(前期末比965百万円増)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、短期借入金の増加等により21,046百万円(前期末比640百万円増)となり、固定負債は主に、繰延税金負債の増加等により5,320百万円(前期末比27百万円増)となりました。その結果、負債合計は26,366百万円(前期末比667百万円増)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により17,897百万円(前期末比297百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2019年6月12日に公表いたしました2020年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,000	6,785
受取手形及び売掛金	8,933	8,869
電子記録債権	2,635	2,963
商品及び製品	3,521	3,550
仕掛品	3,791	3,821
原材料及び貯蔵品	2,432	2,725
その他	879	918
貸倒引当金	△180	△129
流動資産合計	29,013	29,504
固定資産		
有形固定資産	11,138	11,732
無形固定資産		
その他	358	717
無形固定資産合計	358	717
投資その他の資産	2,787	2,309
固定資産合計	14,284	14,759
資産合計	43,297	44,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,278	3,955
電子記録債務	5,013	4,882
短期借入金	8,761	9,535
未払法人税等	225	55
賞与引当金	348	126
その他	1,778	2,489
流動負債合計	20,405	21,046
固定負債		
長期借入金	3,776	3,483
繰延税金負債	97	283
役員退職慰労引当金	754	726
退職給付に係る負債	112	173
資産除去債務	16	16
その他	535	636
固定負債合計	5,292	5,320
負債合計	25,698	26,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	13,521	13,744
自己株式	△350	△350
株主資本合計	16,873	17,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	579	569
為替換算調整勘定	△326	△273
退職給付に係る調整累計額	102	110
その他の包括利益累計額合計	356	406
非支配株主持分	369	393
純資産合計	17,599	17,897
負債純資産合計	43,297	44,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,424	10,608
売上原価	8,645	8,857
売上総利益	1,779	1,751
販売費及び一般管理費	1,356	1,356
営業利益	423	394
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	22	26
為替差益	70	—
不動産賃貸料	23	18
その他	23	16
営業外収益合計	145	67
営業外費用		
支払利息	38	41
手形売却損	1	1
租税公課	6	6
為替差損	—	25
その他	4	11
営業外費用合計	50	87
経常利益	518	375
特別利益		
固定資産売却益	158	—
特別利益合計	158	—
税金等調整前四半期純利益	676	375
法人税、住民税及び事業税	222	65
法人税等調整額	△84	△87
法人税等合計	138	△21
四半期純利益	538	396
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	520	373

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	538	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△10
為替換算調整勘定	△392	53
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	△453	50
四半期包括利益	84	447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	423
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、砂永精工電子(東莞)有限公司の持分を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。また、砂永精工電子(東莞)有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間より、株式会社三泉及びbioグラクラッチ・フィリピン, Inc. の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,213	2,981	10,194	230	10,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	1	22	—	22
計	7,234	2,983	10,217	230	10,447
セグメント利益	384	94	479	17	497

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	479
「その他」の区分の利益	17
内部取引消去	0
棚卸資産の調整	△66
減価償却費の調整	0
全社費用(注)	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	423

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,767	2,481	10,248	359	10,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	9	33	—	33
計	7,791	2,490	10,281	359	10,641
セグメント利益又は損失(△)	552	△56	495	31	526

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	495
「その他」の区分の利益	31
内部取引消去	△31
棚卸資産の調整	△99
減価償却費の調整	0
全社費用(注)	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	394

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、新たに持分取得した砂永精工電子(東莞)有限公司並びに重要性が増した株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc. を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は「輸送機器用事業」で103百万円、「一般産業用事業」で100百万円、「その他」で19百万円であります。